

あっという間に12月。今年に入園式が遅れたこともあり、特に月日が経つのが早い気がします。先月からは、来年度に向けての入園受付が始まっており、一年の成長を改めて実感しているところです。年長さんは1年生に向けて、年中さんは進級に向けて期待を持たせながら、確認をしていかなければなりません。子ども達がスムーズに新しいステージへ移行できるように、幼稚園と家庭で連携していきましょう。

幼稚園での約束 ～小学校でも…～

就学・進級を前に、再度確認しましょう。持ち物の準備を本人が行うのは大切ですが、ご父母の方がカバンチェックもして下さるよう、ご協力お願い致します。

1. 余計な物を持って来ない。

キーホルダーは1個までならOK。カバンから外さないようにしましょう。手に持って歩くと、おもちゃ扱いです。

2. TPO に合わせた服装を。

丈の長い物や動きにくい物、パジャマ、季節に合わない物は着せないで下さい。

3. 靴を履いて登降園。

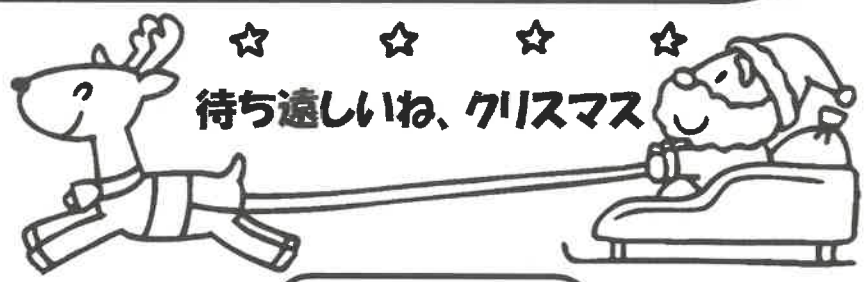
靴下と靴に慣れさせましょう。年長さんは、立って脱ぎ履き出来るように練習しましょう。

4. ハンカチを持たせて。

手を洗った後、洋服にふく子がいます。ポケットにハンカチを持たせてください。

5. 登降園の時間を守って。

朝は、8:15までに登園させてください。帰りは12時（火木は14時）、おひさまは18時までにお迎えをお願いします。



にじ組 友寄まさひろ
 さんのおばあちゃんか
 らいただきました。手作
 りだそうです



ありがとうございました

「気になる姿」から考える、子育て10か条 その1

～言語聴覚士・精神保健福祉士 湯汲英史 氏～

1. 自分の思い通りにしたがる子ども

- なんでも思い通りにしたがる
- 人に指示や命令をしがち
- 大人（お母さん）の言うことを聞かない



決定権を誤解させない

子どもは2歳前後から自分の思い通りにしたいという姿を見せます。このときに大人と衝突しながら、思い通りになることばかりではないと学ぶ必要があります。何事も自分の思い通りにしたがる子どもは、ほかのことの争い事が起こりやすくなります。

また、こういう子どもは大人に対しても、指示や命令をする傾向があり、生意気な子どもに思われたりします。我が強いというよりも、決定権を誤解しているととらえて、「買うか買わないかを決めるのは大人」というように、要求していることについて、誰が決めるかをことばにして教える必要があるでしょう。

2. 気持ちの切り替えがうまくいかない子ども

- 場面が変わるときに抵抗する
- ことばで思いを表現できず、泣いて騒ぐ
- 声が大きく動作が激しい
- 落ち着きがない
- 感情的になりやすい



気持ちのコントロール力をつける

泣いて要求を訴える赤ちゃん時代から、子どもはだんだんと泣かなくなります。泣くという行動から、「やりたい」「いや」など言語によって自分の思いを表現するようになります。大人は、一般的に3歳前後から、泣いて要求する子に対して、「泣いていたらわからない」「泣かないで話して」「小さい声で言って」と伝えだします。行動かから言語化へ促す、大切な働きかけです。

感情のコントロールができない子は、喜怒哀楽の中でも「怒り」を強く出します。「怒らない」と言って、怒りを自制できるようにしていく必要があります。

続きは次号にて...